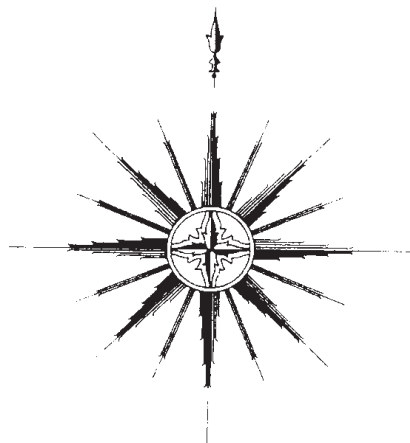


研究活動報告

(2015年4月～2016年3月)



凡 例

- (1) 現在の研究テーマ
- (2) 著書、論文、その他
- (3) 研究発表、講演
- (4) 学外集中講義など
- (5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動など
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- (7) 共同研究、受託研究など
- (8) 学会・研究会・講演会などの開催

○文化財論講座

須藤 弘 敏

(1)現在の研究テーマ

- 仏教絵画史、近世地方仏、文化政策

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 須藤弘敏『法華経写経とその荘嚴』中央公論美術出版 2015.06.25 292頁

[その他]

- 「金が作り出す世界」大阪府保険医協会『大阪保険医雑誌』, 592号 2016.1, pp.24~27

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (C)「近世地方仏の調査研究」研究代表者 (2015~18年度)
- 基盤研究 (B)「在欧日本仏教美術の基礎的調査・研究とデータベース化による日本仏教美術の情報発信」研究分担者 (2013~15年度)

杉山 祐 子

(1)現在の研究テーマ

- 在来知、農民によるイノベーション過程としてのアフリカ農村の変化 (FIH: Folk Innovation History, or LIH: Local Innovation History)
- グローバル化の進展と「現金の社会化」、ジェンダー
- 北東北地域における小規模アグリビジネス

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 杉山祐子・山口恵子『地方都市とローカリティー—弘前・仕事・近代化』弘前大学出版会 2016年3月
- 杉山祐子「祖霊・呪い・日常生活における他者の諸相」河合香吏編『他者—人類社会の進化』京都大学学術出版会 pp.251-274 2016年3月

[論文]

- 白石壮一郎・杉山祐子「地域農業プラットフォームとしての直売所:弘前市周辺の調査から」『地域未来創生センタージャーナル』弘前大学地域未来創生センター pp.5-20 2016年3月

[その他]

- 杉山祐子・白石壮一郎「集落点検(三沢市根井)経過報告」『地域社会研究』第9号 弘前大学大学院地域社会研究科 2016年3月 pp.30-42
- 杉山祐子・木立るり子「平成26年度青森ブランド価値創造研究:青森スタイル構築と提言のためのコア課題同定にむけた基盤研究」『地域未来創生センタージャーナル』2016年3月 p.63
- 杉山祐子・木立るり子「つがるブランド地域先導ナース育成事業」『地域未来創生センタージャーナル』2016年3月 P.65
- 杉山祐子「青森県における新たな価値に基づく生き方モデル探求の基盤構築」『地域未来創生センタージャーナル』2016年3月 pp.75-80
- 陸奥新報「日曜随想」

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 杉山祐子「タンザニア、ゴゴの野菜栽培をめぐるLIH(ローカル・イノベーション・ヒストリー)」日本アフリカ学会第52回学術大会 2015年5月24日 犬山国際観光センターフロイデ
- 杉山祐子「新テーマ『生存・環境・極限』:生態人類学からかんがえるための話題集」人類社会の進化史的基盤研究(4)第1回課題研究会 2015年6月15日 東京外国語大学
- 杉山祐子「野菜栽培と販売からみる現金と生産資源ネットワーク」「グローバル化するアフリカ農村と現金をめぐる人類学的研究」2015年度第3回課題研究会 2016年2月27日 東京外国語大学
- 杉山祐子ほか「青森地域におけるヒト・文化・モノの再生産過程とその新たな循環を考える」地域未来創生センターフォーラム 2016年3月4日 弘前市民文化交流館ホール

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 2015年8月 タンザニア共和国にて、植林プロジェクト終了後の展開と「現金の社会化」に関する現地調査

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (B)「グローバル化するアフリカ農村と現金をめぐる人類学的研究」(研究代表者) H25～H28

(7)共同研究、受託研究など

- 共同研究：東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所共同研究「人類社会の進化史的基盤研究 (3)」
- 受託研究：青森県集落経営再生事業 (地域社会研究科受託研究)

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 日本アフリカ学会東北支部会2015年度 公開講義 2015年6月17日

宮坂 朋

(1)現在の研究テーマ

- ローマ美術における私的領域から公的領域への格上げの問題

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 宮坂朋「カタコンベからバシリカ聖堂装飾へ 転換期のヴィア・ラティーナ・カタコンベ」『弘前大学人文学部人文社会論叢—人文科学篇』 第34号、2015年、pp.1-17。
- 宮坂朋「ヴィア・ラティーナ・カタコンベのアフリカの要素」『第22回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』2015年12月、pp.183-194。

[その他]

- 宮坂朋「ローマ美術の楽しみ方」『弘前イタリア文化愛好会会報』 第15号、2015年4月、pp.1-3。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 宮坂朋「ヴィア・ラティーナ・カタコンベのヘレニズム的要素」『第22回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会』、金沢大学地域連携推進センター、2015年7月5日

(4)学外集中講義など

- 放送大学面接授業「世界遺産でたどるローマの歴史」、放送大学青森学習センター、2015年7月11-12日
- 弘前大学ドリーム講座「文化遺産とどう向き合うか?」、五所川原高校、2015年10月2日

山田 巖子

(1)現在の研究テーマ

- 潜在的な宗教者、民俗信仰の再文脈化、世間の認識と世間話

(2)著書、論文、その他

[研究ノート]

- 長尾正義・古川実・山田巖子・小島孝夫「民具の保存管理の現状と課題—小川原湖民俗博物館旧蔵資料をめぐる活動—」神奈川大学日本常民文化研究所 2016年3月 pp.5-7

[報告書]

- 山田巖子監修 弘前大学民俗学実習履修学生編『津軽地方の鬼信仰と民俗』弘前大学民俗学研究室 2016年3月 pp.3-5
- 山田巖子監修・弘前大学民俗学実習履修学生編『映像資料 鬼神社七日堂祭記録』2015年12月 弘前大学民俗学研究室

[新刊紹介]

- 山田巖子「大島建彦著『人生のハレとケ』」『口承文芸研究』39号 2016年3月 p.200

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 山田巖子「潜在的な宗教者をめぐる予備的考察—オシラ神信仰者めぐって—」2015年10月11日 於：関西学院大学西宮校

[ワークショップ講師]

- 山田巖子 地域創生塾「地域文化を伝える青森県の宝—小川原湖民俗博物館旧蔵資料の活用について考えよう—」2015年10月28日 於：弘前中央公民館

(6)科学研究費補助金

- 基盤研究 (C)「潜在的な宗教者と知識の配置をめぐる民俗学的研究」(研究代表) 平成26年度～28年度
- 基盤研究 (C)「人形芝居における儀礼の復活と門付の伝統に関する研究－淡路人形芝居を中心として」(研究分担者) 平成27年度～29年度

(8)学会・講演会などの開催

[弘前大学人文社会科学部主催または共催のもの]

- 弘前大学資料館特別展「小川原湖民俗博物館旧蔵資料と渋沢敬三展—青森県の民具研究の軌跡と意義—」2015年10月17日～11月21日
- 弘前大学COC推進室+地域未来創生センター 民具保存・活用プロジェクト「残そう、南部の民具を次世代へ」成果報告会 2015年12月12日 於：弘前大学人文学部多目的ホール

関根 達人

(1)現在の研究テーマ

- 縄文 中近世考古学 北方史

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 関根達人「亀ヶ岡文化の実像」阿子島香編『東北の古代史1 (北の原始時代)』、pp.177-203、共著、2015年7月、吉川弘文館
- 関根達人「北方史とアイヌ考古学」関根達人編『季刊考古学』第133号、pp.14-19、共著、2015年11月、雄山閣
- 関根達人・佐藤里穂「アイヌの武器・武具」関根達人編『季刊考古学』第133号、pp.53-55、共著、2015年11月、雄山閣

[論文]

- 関根達人・佐藤里穂「蝦夷刀の成立と変遷」『日本考古学』第39号、pp.91-111、共著、2015年5月、日本考古学協会
- 関根達人「アイヌ文化と大山酒」『斬新考古』第4号、pp.4-6、2016年3月、単著、(私設)北海道考古学研究所

[報告書]

- 関根達人編『越前三国湊の中近世墓標』(科学研究費基盤研究A「石造物研究に基づく新たな中近世史の構築」研究成果報告書1)、pp.1-118、共著、2015年7月、弘前大学人文学部文化財論研究室
- 関根達人編『弘前市革秀寺・長勝寺 津軽家霊屋内部調査報告書』、pp.1-69、共著、2016年3月、弘前大学人文学部文化財論研究室

[書評]

- 関根達人「書評『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた北東北世界の実態的研究』」『弘前大学國史研究』第140号、pp.87-90、2016年3月、弘前大学國史研究会

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 柴正敏・関根達人「津軽海峡域における晩期縄文土器の移動—胎土に含まれる火山ガラスに基づいて—」、日本考古学協会第81回総会研究発表、帝京大学、2015年5月24日
- 関根達人「余市町入舟遺跡から出土した酒樽の歴史的意義」、科学研究費挑戦的萌芽研究「北海道・東北を中心とする北方交易圏の理論的枠組み構築のための総合的研究」シンポジウム、単独、北海道余市町中央公民館、2015年11月29日

[講演]

- 関根達人「考古学から見た堀越城跡」、堀越城シンポジウム、単独、弘前市文化会館、2015年11月15日
- 関根達人「津軽からみた松前と松前からみた津軽—江戸時代の飢饉と社会—」、とうほく街道会議第11回交流会青森大会、単独、青森市ねぶたの家ワラッセ、2015年11月20日
- 関根達人「本州アイヌと北奥の戦国領主」、八戸市博物館市民講座、単独、八戸市博物館、2015年11月28日

(4)学外集中講義など

- 出張講義「考古学的なものの見方で歴史をひもとく」群馬県立桐生高等学校、2015年12月9日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (A)「石造物研究に基づく新たな中近世史の構築」(研究代表者) 平成26～30年度
- 挑戦的萌芽研究「北海道・東北を中心とした交易圏形成に関する考古・歴史・文化人類学による総合的研究」(研究分担者) 平成25～27年度

(7)共同研究、受託研究など

- 「宮城県栗原市史跡山王圀遺跡出土漆器の研究」(研究代表者)、平成27～31年度
- 弘前大学「冷温帯の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト」(研究分担者)、平成23～27年度

[それ以外のもの]

- 弘前大学学術特別賞(遠藤賞)、2016年2月16日

足 達 薫

(1)現在の研究テーマ

- イタリアのルネサンス美術における記憶術と魔術の同調作用

(2)著書、論文、その他

[その他]

- 足達薫「ミケランジェロ・ピオンド『この上なく高貴な絵画について』1549年 訳と註釈(献辞-第4章)」、弘前大学人文学部編『人文社会論叢(人文科学篇)』第35号、pp.97-113、2016年2月29日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 2016年9月イタリア(パルマ、ローマ)でのフィールドワーク調査、資料収集

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

上 條 信 彦

(1)現在の研究テーマ

- 東アジア先史時代の食文化・食品加工技術の研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 上條信彦『縄文時代における脱殻・粉碎技術の研究』2015年10月、六一書房、全467頁

[論文]

- Nobuhiko Kamijo, 他7名 “Morphological and molecular genetics of ancient remains and modern rice (*Oryza sativa*) confirm diversity in ancient Japan” 『Genetic Resources and Crop Evolution』第63巻第3号、2015年7月. Springer Netherlands. pp.447-464

[その他]

- 上條信彦「使用痕・残存デンプン分析および蛍光エックス線分析からみた小山崎遺跡検出の石皿、磨石類の機能と用途」『小山崎遺跡発掘調査報告書-総括編-』2015年6月. 山形県遊佐町教育委員会. pp.488-496.
- 上條信彦・田中克典・佐藤洋一郎編『日本の出土米Ⅱ 佐藤敏也コレクションの研究』2015年8月. 六一書房. 全332頁
- 片岡太郎・上條信彦編2015『亀ヶ岡文化の漆工芸Ⅱ 北日本における先史資源利用の研究』2015年9月. 六一書房. 全106頁
- 上條信彦編『八郎潟沿岸の低湿地遺跡』2016年2月. 弘前大学人文学部北日本考古学研究センター

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 田中克典・上條信彦「形態・考古DNA分析からみた稲作の歴史的変遷」2015年7月 日本中国考古学会第69回九州部会.九州大学・福岡
- 片岡太郎・鹿納晴尚・佐々木理・上條信彦「X線CT分析による秋田県南秋田郡五城目町中山遺跡出土竪櫛の製作技術」2015年7月 日本文化財科学会第32回大会. 東京学芸大学・東京
- 田中克典・上條信彦「出土米の形状分析からみた日本におけるイネ品種の展開」2015年7月 日本文化財科学会第32回大会. 東京学芸大学・東京
- 上條信彦「八郎潟沿岸域における縄文後半期の植物利用」2015年7月. 日本文化財科学会第32回大会. 東京学芸大学・東京
- Kamei Tsubasa, Koiwa Naoto, Kamijo Nobuhiko “Geoarchaeological investigations at the late to final Jomon site of Nakayama, Northern Japan” 2015年7月. 国際第四紀学連合第19回大会. 名古屋国際会議場・名古屋
- AHN Sohyeon, Nobuhiko Kamijo “Late Holocene vegetation and human activities at the Nakayama archaeological site, Akita, northern Japan” 2015年7月. 国際第四紀学連合第19回大会. 名古屋国際会議場・名古屋
- Taro Kataoka, Harumasa Kano, Osamu Sasaki, Nobuhiko Kamijo [Investigation of techniques of lacquer craft works that were made of late and final Jomon periods of the North-Eastern parts, JAPAN by use of X-ray CT analysis]

International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia, 共同、奈良春日野国際フォーラム 薨~I・RA・KA~、2015年8月27日

- 「从DNA・形态分析来看出土稻米品种研究」2015年9月 考古学系列讲座. 山東大学・済南
- 小岩直人・葛西未央・亀井翼・上條信彦「秋田県馬場目川流域の河川争奪と中山遺跡の地形環境」2015年10月 2015年度東北地理学会秋季学術大会. 上越教育大学・上越
- 片岡太郎・上條信彦・佐々木由香・鹿納晴尚・佐々木理「X線CTによる藍胎漆器の製作技法と素材同定に関する研究」2015年11月 第30回日本植生史学会大会. 北海道博物館・札幌（優秀発表賞受賞：<http://hisbot.jp/archives/3117>）
- 上條信彦・氏家良博・渡邊世梨華・相澤武宏・安田創「元素組成・マセラル分類・Amorphinite 反射率からみた出土アスファルトの分析」2015年11月 第6回アスファルト研究会. 新潟県埋蔵文化財センター・新潟市文化財センター・新潟
- 上條信彦・田中克典「趙家庄遺跡の炭化米分析と王家村遺跡の石器使用痕分析」2016年2月. 第70回日本中国考古学会九州部会. 九州大学・福岡

[講演]

- 上條信彦「亀ヶ岡文化の漆製品とその製作技術」2015年7月. 考古学講座（3）. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館・八戸

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 中国浙江省田螺山遺跡ほか調査 2015年9月
- 中国山東省山東大学石器調査 2015年9月

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究（B）「先史時代東日本における食料加工技術の研究」（研究代表者）
- 弘前大学若手研究者支援者事業2015「形態・DNA分析からみたイネの歴史的適応過程」（研究代表者）
- 基盤研究（B）「東北アジア農耕伝播過程の植物考古学分析による実証的研究」（研究分担者）
- 基盤研究（B）「北海道噴火湾沿岸の縄文文化の基礎的研究」（研究分担者）
- 新学術領域研究（研究領域提案型）「イネの栽培化と植物質食料資源の開発」（研究分担者）

(7)共同研究、受託研究など

- 大阪府立弥生文化博物館「佐藤コレクション出土米の分析」

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 2015年10月10日-11月15日 特別展「文理融合の考古学」
- 2015年10月10日 冷温帯プロジェクトシンポジウム「考古学と遺伝学の新地平—イネの来たる道」. 弘前大学・弘前

片岡太郎

(1)現在の研究テーマ

- 非破壊透視解析の開発とそれをを用いた縄文漆工技術の体系化
- 水浸出土木製品の保存処理方法の開発
- 被災有機質文化財の簡便な応急処置方法の開発

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 片岡太郎・上條信彦 編『亀ヶ岡文化の漆工芸 II 北日本における先史資源利用の研究』、共著、冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト研究報告書5、弘前大学人文学部北日本考古学研究センター、2015年9月28日、株式会社六一書房

[その他]

- 片岡太郎、「塔婆ならびに奉納品の彩色分析」、『弘前市革秀寺・長勝寺 津軽家霊屋内部調査報告書』関根達人編集、弘前大学人文学部文化財論研究室、pp31-39、2016年3月18日、弘前大学人文学部文化財論研究室

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 片岡太郎・鹿納晴尚・佐々木理・上條信彦「X線CT分析による秋田県南秋田郡五城目町中山遺跡出土堅櫛の製作技術」日本文化財科学会第32回大会、共同、東京学芸大学、2015年7月11日
- Taro Kataoka, Harumasa Kano, Osamu Sasaki, Nobuhiko Kamijo「Investigation of techniques of lacquer craft works that were made of late and final Jomon periods of the North-Eastern parts, JAPAN by use of X-ray CT analysis」International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia, 共同、奈良春日野国際フォーラム 薨~I・

RA・KA～、2015年8月27日

- 片岡太郎・上條信彦・佐々木由香・鹿納晴尚・佐々木理「X線CTによる藍胎漆器の製作技法と素材同定に関する研究」日本植生史学会第30回大会、共同、北海道博物館、2015年11月7日

(優秀発表賞受賞：http://hisbot.jp/archives/3117)

- 片岡太郎「水浸出土木材の水中保管における腐敗臭発生の低減について」日本木材学会第66回大会、単独、名古屋大学、2016年3月27日

[講演]

- 片岡太郎「縄文時代の漆工芸研究の最前線と保存・活用」JOMON亀ヶ岡文化フォーラム（青森県つがる市）、単独、つがる市生涯学習交流センター、2016年2月21日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 挑戦的萌芽研究（代表）「疑似埋蔵環境の創成による出土有機質遺物の長期水中保管方法の確立」（代表者：片岡太郎）、2014年4月1日～2016年3月31日
- 基盤研究（A）（分担）「被災博物館等の汚染ガスからみた資料と環境の安定化およびその評価手法の研究」（代表者：筑波大学・松井敏也）、2014年4月1日～2019年3月31日

○思想文芸講座

李 梁

(1)現在の研究テーマ

- 近世東アジア知識論の研究、漢訳西学書の研究、イエズス会の教育思想研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 『「心身/身心」と環境の哲学：東アジアの伝統思想を媒介に考える』（共著）、汲古出版社、2016年3月、ISBN978-4-7629-6568-7、総771頁。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 1、「伝統教養と新知識体系」、東アジア文化交渉学会第7回国際シンポジウム『連携の「東アジア時代」への責任－文化交渉学的アプローチを軸に－』、神奈川県開成町、東アジア文化交渉学会主催、神奈川県開成町福祉センター、2015年5月9日～10日
- 2、「ミルクで教理を育む：A・ヴァリニャーノの教育思想略論」、大規模学術フロンティア促進事業日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画第1回日本語の歴史的典籍国際研究集会「可能性としての日本古典籍」、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館、2015年7月31日～8月1日
- 3、フォーラム立案参加、コーディネーター、総合司会：北東アジア論壇2015「東アジアの歴史、現在と未来－文化交流と相互認識」、主催：中国ハルビン師範大学日本語言語文化学科、共催：京都大学地域研究統合情報センター共同利用・共同プロジェクト、神奈川大学国常民文化研究機構共同研究、台湾大学文学院日本学研究中心、科研・基盤（A）「東アジア域内100年間の紛争・協調の軌跡を非文字史料から読み解く」（代表者 貴志俊彦）、2015年8月25日。

[講演]

- 「イエズス会と教育－近世東アジアの視点から－」、中国・南京大学高等人文研究院、2015年12月7日
- 「言語研究から文化研究へ」、中国紹興越秀外国語学院東方言語学院日本語学科、2015年12月10日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

●海外出張

- 1、中国（2015年8月23日～8月29日、他機関からの依頼出張）
- 2、中国（2015年12月5日～12月12日、研修）
- 3、イタリア（2015年9月10日～9月23日、出張）
- 4、中国（2016年3月21日～4月3日、研修）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 1、人間文化研究機構・国文学研究資料館研究プロジェクト「日本と西洋との相互認識に関する総合書物学的研究：キリシタン文学の発展と継承」(Mutual Understanding between Japan and the West through Comprehensive Book-based Research:

The Development and Legacy of Christian Literature in Japan) (代表者郭南燕)、研究分担者、平成26年10月～平成30年3月

2、弘前大学科研費申請獲得支援金、

(7)共同研究、受託研究など

- 「日本と西洋との相互認識に関する総合書物学的研究：キリシタン文学の発展と継承」(Mutual Understanding between Japan and the West through Comprehensive Book-based Research: The Development and Legacy of Christian Literature in Japan) (代表者郭南燕、国際日本文化研究センター准教授)、研究分担者、平成26年10月～平成30年3月

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 企画、主催 弘前大学人文学部思想文化コース公開講演会、講師：国際日本文化研究センター・総合研究大学院教授劉建輝 「日中両国は本当に相互理解が不可能なのか？—近代二百年の歴史からの再検討—」、2015年11月12日、弘前大学人文学部。

[それ以外のもの]

- 弘前大学生協同組合理事会 地域連携小委員会 「郷土が生んだ名人の碑を巡るバスツアー」(2015年11月7日)の企画、案内解説

今井正浩

(1)現在の研究テーマ

- 西洋古典学
- 西洋古代哲学・思想史
- ヨーロッパ古典文化論
- 人体の中樞器官をめぐる論争史をとおしてみた西洋古代の人間観の展開の解明
- 精神疾患の病理をとおしてみた西洋古典古代の人間観の特質の解明

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 今井正浩「医学者ブラクサゴラスとヒポクラテスの脳中心主義の伝統 —ギリシア古典期からヘレニズム期にいたる古代医学史の展開—」
日本科学史学会 第62回年総会 (2015年5月30日～31日／大阪市立大学)

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科学研究費補助金基盤研究 (C)
研究課題名「人体の中樞器官をめぐる論争史をとおしてみた西洋古代の人間観の展開に関する実証研究」(研究代表者／平成25年度～平成28年度)

木村純二

(1)現在の研究テーマ

- 和辻哲郎の倫理思想
- 伊藤仁斎の倫理思想

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 「日本の 經學文獻 수용에 관하여 —古義堂資料・稽古館資料를 中心으로—」, 『한국문화73号』, (65～77頁), 서울大學校奎章閣韓國學研究院, 2016年03月,

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 「奎章閣文獻と日本の經學文獻所藏 —古義堂資料・稽古館資料を中心に—」, 国際シンポジウム「韓国經学の位相と經書類文獻—奎章閣所藏經部を中心に—」, ソウル大学奎章閣韓國學研究院, 2015年10月23日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 国際シンポジウム「韓国經学の位相と經書類文獻—奎章閣所藏經部を中心に—」参加。ソウル大学奎章閣韓國學研究院, 2015年10月23～24日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科研費基盤研究 (A)「東アジアにおける朝鮮儒教の位相に関する研究」研究分担者 (研究代表者:井上厚史、島根県立大学)

泉谷安規

(1)現在の研究テーマ

- ジョルジュ・バタイユ、シュルレアリスム

横地徳廣

土井雅之

(1)現在の研究テーマ

- イギリス文学・文化、シェイクスピアとその時代

(2)著書、論文、その他

[その他]

- 土井雅之「プルタークの『英雄伝』とシェイクスピアのローマ史劇」『日本英文学会第87回大会Proceedings（付2014年度支部大会Proceedings）』、pp.124-125、単著、2015年9月15日
- Masayuki Doi 'Hannah Crawforth, Sarah Dustagheer, and Jennifer Young, *Shakespeare in London*' *Shakespeare Studies*, volume 53, pp.60-62、単著、2016年3月7日

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 土井雅之「ラム姉弟『シェイクスピア物語』について」第21回エリザベス朝研究会、単独、慶應義塾大学、2015年9月5日
- 土井雅之「材源との比較から読み解くラム姉弟『シェイクスピア物語』」、第7回東北ロマン主義文学・文化研究会、単独、東北大学、2015年12月5日

(4)学外集中講義など

- 弘前大学進学相談会「学部・学科説明および質疑応答」、弘前学院聖愛高等学校、2015年6月29日
- 弘前大学進学相談会「学部・学科説明および質疑応答」、青森東高等学校、2015年7月3日
- ひろだいなビゲートキャラバン in 八戸「進学相談会」、八戸商工会館、2015年9月12日
- 弘前大学ドリーム講座「三度はおいしいイギリス文学」黒石高等学校、2015年11月11日
- 不来方高等学校教員大学訪問「人文学部の教育内容について、語学や国際交流に関する特徴について」弘前大学、2015年11月16日
- 教員免許状更新講習「英語学習と多読教材」弘前大学、2015年12月23日

○コミュニケーション講座

山本秀樹

(1)現在の研究テーマ

- 地理情報システム（GIS）による世界諸言語の言語類型地理論的研究、世界諸言語の言語構造地図の作製および分析、言語類型論と言語普遍性研究、人類と言語の系統に関する研究

(2)著書、論文、その他

[その他、シンポジウム原稿]

- 山本秀樹「千葉大学文学部講演会を振り返って一言語学の立場から」単著、<http://www.l.chiba-u.ac.jp/ja/news/2015/1163>、2015年12月

(3)研究発表、講演

[シンポジウム]

- 三浦俊彦（東京大学）・岡ノ谷一夫（東京大学）・山本秀樹（弘前大学）「言語の生物学的解明とは？——記述か説明か；人間原理の観点から」千葉大学第4回文学部講演会、共同、千葉大学、2015年11月12日

(4)学外集中講義など

[講習]

- 平成27年度 弘前大学教員免許状更新講習「音声の学習と指導」弘前大学、2015年8月1日

[TVインタビュー]

- 「人類言語の起源について」日本テレビ『人類700万年物語』、2015年4月15日
- 「配偶者の呼び方について」日本テレビ『スッキリ!!』、2015年7月23日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究(C)、「地理情報システムによる世界諸言語の格標示体系の言語類型地理論的研究」(研究代表者)、平成25～27(28)年度(28年度補助期事業期間の延長：平成28年3月22日承認)

木村宣美

(1)現在の研究テーマ

- 英語学(統語論・意味論)：
右方移動現象と併合/線形化のメカニズム；述語(動詞句)削除に対する2種類のbeに基づく分析；文体的倒置/there構文/as挿入節/比較節の節構造

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 木村宣美「述語削除と法助動詞の陳述緩和的・根源的意味」『英語語法文法学会第23回大会予稿集』、pp.40-47、単著、平成27(2015)年10月
- 木村宣美「述語削除と法助動詞mustの意味」弘前大学人文学部『人文社会論叢－人文科学篇』第35号、pp.1-19、単著、平成28(2016)年2月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 木村宣美「述語削除と法助動詞の陳述緩和的・根源的意味」英語語法文法学会第23回大会、単独、龍谷大学深草学舎、平成27(2015)年10月24日
- 木村宣美「2種類の助動詞倒置」日本中部言語学会第62回定例研究会、単独、静岡県立大学、平成27(2015)年12月12日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究(C)「右方移動現象の分析に基づく併合と感覚運動体系における線形化のメカニズムの解明」(研究代表者)平成26年度-平成28年度

渡辺麻里子

(1)現在の研究テーマ

- 中世文学・説話文学・仏教文学、書誌学、天台談義書、大藏經(明版・鉄眼版)、津軽の宗教と文化、藩校資料・大名文庫

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 渡辺麻里子「唱導と説法—安居院小考—」, 単著, 『説話文学研究』50号, 査読有, 96～108頁, 2015年10月
- 渡辺麻里子「尊舜談『天台伝南岳心要見聞』について」, 『大久保良峻教授還暦記念論集 天台・真言 諸宗論攷』山喜房仏書林, 招待論文, 47～75頁, 2015年12月,

[その他]

- 渡辺麻里子〔解題〕「名所三百首聞書」「新葉和歌集」「六家集」「文献通考」、弘前藩藩校資料調査プロジェクトチーム『東奥義塾高等学校所蔵 旧弘前藩典籍調査集録』第二集, 弘前大学人文学部, 平成28年3月, 66～96頁

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 渡辺麻里子「叡山文庫蔵『三大部見述目録』について」, 平成二十七年度 第五十七回天台宗教学大会, 平成27年11月6日, 大正大学
- 渡辺麻里子「弘前藩藩校資料調査プロジェクト概要および、東奥義塾高校図書館蔵日本古典文学関係資料について」, 2015年度東奥義塾高校所蔵旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会, (於)弘前大学人文学部多目的ホール, 2015年12月23日

(4)学外集中講義など

- 大学特別授業「本当に知ってる?—神様・仏様の世界—」, (於)千葉県立匝瑳高等学校, 2015年11月19日
- 弘前市中央公民館事業 文京学区ふれあい講座～くずし字教室, 2015年7月6日, (於)弘前市立文京小学校
- 弘前市中央公民館事業 大成学区まなびい講座～『くずし字教室』, 2015年10月8日, (於)弘前市立大成小学校
- 特別公開授業・三学区生涯学習講座「昔話や物語の世界——『くずし字』からひらける不思議ワールド」2015年10月15日

- 日(木)(於)弘前市立第三大成小学校, 2014年7月1日(於)文京小学校
- 第9回地域未来創生塾「くずし字で遊ぼう!」, (於)弘前市立中央公民館, 2016年1月13日
 - 特別講義(東奥義塾図書館古典籍展観), (於)東奥義塾高等学校, 2016年11月10日(1回)
 - 特別講義(東奥義塾図書館古典籍展観), (於)東奥義塾高等学校, 2016年11月13日(3回)
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- 挑戦的萌芽研究「中世仏教資料における記家文字表記体系の解明」(代表者)平成27年度～平成29年度
 - 基盤研究(A)(一般)「宮内庁書陵部所蔵道蔵を中心とする明版道蔵の調査と研究」(分担者)平成26～30年度
- (8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- [弘前大学人文学部 国際公開講座2015「日本を知り、世界を知る」「海をこえて世界とつながる人文学」2015年11月3日(火・文化の日)、(於)弘前大学人文学部4階多目的ホール
- [旧弘前藩校稽古館資料一般公開—東奥義塾高等学校図書館所蔵古典籍展観—]2015年11月9日～13日、(於)東奥義塾高等学校図書館
- [2015年度東奥義塾高校所蔵 旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会]2015年12月23日(水)、(於)弘前大学人文学部4階多目的ホール
- [ワークショップ 市民と文化財—利用・活用・学習を考える—]2016年2月6日(土)、(於)弘前大学人文学部4階多目的ホール
- [2015年度・卒研プロジェクト]「卒研を書くために!—卒業研究発表会&卒研指導勉強会—」2016年2月10日(水)、(於)弘前大学総合教育棟306

奈 蔵 正 之

熊 野 真 規 子

(1)現在の研究テーマ

- 外国語教育(フランス語教育、複言語・複文化教育)

(2)著書、論文、その他

[その他、報告]

- 熊野真規子「『弘前×フランス』プロジェクト:『まちをキャンパスに!』(複言語・複文化教育プロジェクト[フランス語モデル])」、『地域未来創生センタージャーナル』第2号、pp.41-48

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 熊野真規子(&学生)「2015年度『弘前×フランス』プロジェクトを振り返る—Réflexion sur notre défi 2015: projet plurilinguistique et pluriculturel «Hirosaki×France»」、RENCONTRES PEDAGOGIQUES DU KANSAI 2016(第30回関西フランス語研究会)、単独、上田安子服飾専門学校、2016年3月25日
- 熊野真規子、釣馨、今中舞衣子「学生主体のプロジェクト活動における実践知と気づき—『弘前×フランス』プロジェクトを事例として—Apprentissage par projet :la réflexion sur le cas de « Hiroasaki× France »」、RENCONTRES PEDAGOGIQUES DU KANSAI 2016(第30回関西フランス語研究会)、共同、上田安子服飾専門学校、2016年3月26日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- フランス共和国、学生海外PBLプログラム:「弘前×ボルドー」プロジェクト2015年10月15日～23日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究(B)「異文化間能力養成のための教材と評価基準の開発およびその有効性の検証」(連携研究者)、平成25年度～平成27年度
- 挑戦的萌芽「社会実験的アプローチによる地方都市の複言語・複文化教育モデル構築と地域活性化検証」(研究代表者)、平成27年度～平成29年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[それ以外のもの]

- 研究会:「『弘前×フランス』プロジェクト2015報告会」弘前大学2015年12月26日

*基盤研究B「異文化間能力養成のための教材と評価基準の開発およびその有効性の検証」(代表:大木充)／挑戦的萌芽「社

小野寺 進

(1)現在の研究テーマ

- 英文学、イギリス文化論、物語理論、英語多読、英語教育

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 小野寺進「英語リスニング能力を高める方法—発音記号と音読」『21世紀教育フォーラム』第11号、pp.11-19、2016年3月

(4)学外集中講義など

- 出前講義「『ガリヴァー旅行記』—恐ろしい旅物語」北海道旭川西高等学校、2015年7月24日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- フランス共和国（ボルドー）、学生PBL活動プログラム2015年10月

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科研費獲得支援事業費（弘前大学）平成27年度

南 修 平

(1)現在の研究テーマ

- アメリカ現代史、ニューヨークの歴史と文化、労働民衆史、アメリカ愛国主義研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 『アメリカを創る男たち—ニューヨーク建設労働者の生活世界と「愛国主義」』、単著、2015年7月、名古屋大学出版会

[論文]

- “Reflecting Volatility, Fragility, and Diversity: A Wide and Narrow Range of New York City’s Political Culture Related to Madison Square Garden,” *Rikkyo American Studies* 38, pp. 155-178, single, March 2016.

(3)研究発表、講演

[講演]

- 「博士論文の出版に向けて—著者の視点、編集者の視点—」一橋大学キャリア支援室2015年度第3回アカデミック・キャリア講習会、単独、一橋大学、2015年9月14日

(4)学外集中講義など

- 平成27年度長野市・長野県短期大学共催市民カレッジ「21世紀の社会を考える」第3回「21世紀の新たな秩序を求めて—ニューヨークの歴史から」長野市生涯学習センター、2015年6月30日

堀 智 弘

(1)現在の研究テーマ

- 十九世紀アメリカ社会の世俗化と物語形式の発展についての研究、奴隷制文学

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 堀智弘「アメリカの奴隷も崇高を唄う—フレデリック・ダグラスにおけるロマンティシズムの美学と自由の倫理」、『人文社会論叢—人文科学篇』第35号、pp.21-35、単著、2016年2月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 堀智弘「南北戦争以前の奴隷物語の発展について—*Narrative of the Life of Frederick Douglass* (1845年)を中心に」日本英文学会東北支部第70回大会、単独、宮城学院女子大学、2015年11月7日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 米国ニューヨーク、資料収集、2015年9月17日～24日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (C)「十九世紀米国社会の世俗化との関連からみる、奴隷物語の小説化過程の歴史的研究」(研究代表者)平成26～28年度
- 基盤研究 (C)「アメリカ合衆国における貧乏白人の文学的表象の研究」(研究分担者)平成26～28年度

JANSON MICHEL

(1)現在の研究テーマ

- フランス語・フランス語教育学

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 「外国語教育における語彙の獲得」弘前大学人文学部『人文社会論叢』（人文科学篇）第35号、p.37-47、2016年2月

(4)学外集中講義など

- 平成27年7月26日～31日
集中講義 フランス語会話&実践 秋田県秋田市 秋田大学・教育文化部
- 平成28年2月7日～13日
集中講義 フランス語会話&実践 秋田県秋田市 秋田大学・教育文化部

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 平成26年9月27日～10月4日
海外派遣教育プログラム・フランス国 ボルドー市 ボルドーモンテニュー大学

楊 天 曦

川 瀬 卓

(1)現在の研究テーマ

- 日本語史（語彙史・文法史）、副詞の歴史的研究、配慮表現の歴史的研究、地方議会会議録を用いた社会言語学的研究

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 川瀬卓「副詞「どうぞ」の史の変遷—副詞からみた配慮表現の歴史、行為指示表現の歴史—」『日本語の研究』第11巻2号、pp.16-32、単著、2015年4月
- 二階堂整、川瀬卓、高丸圭一、田附敏尚、松田謙次郎「地方議会会議録による方言研究—セミフォーマルと気づかない方言—」日本方言研究会編『方言の研究1』pp.299-324、共著、2015年9月、ひつじ書房

[その他]

- 川瀬卓「国土産江戸噺し」「小学読本（首巻）」「訂正中等国文典」弘前藩藩校資料調査プロジェクトチーム『東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩古典籍調査集録Ⅱ』pp.57-65、単著、2016年3月、弘前大学人文学部・弘前大学地域未来創生センター弘前藩藩校資料調査プロジェクトチーム

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 川瀬卓「副詞「どうやら」の歴史的变化」日本語学会2015年度春季大会、単独、関西学院大学、2015年5月24日
- 川瀬卓「東奥義塾高校図書館蔵日本語学関係資料について」2015年度東奥義塾高校所蔵旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会、単独、弘前大学、2015年12月23日
- 川瀬卓「配慮を表す副詞的表現「よかったら」類」第263回筑紫日本語研究会、単独、九州大学、2015年12月28日

[講演]

- 川瀬卓「コミュニケーションの歴史を探る—移りゆく日本語の敬語・配慮表現—」弘前大学人文学部国際公開講座2015「日本を知り、世界を知る」海をこえて世界とつながる人文学、単独、弘前大学、2015年11月3日
- 川瀬卓「気づかない方言「そうすれば」—共通語の影響によって生じた方言—」2015（平成27）年度弘前学院大学国語国文学会冬季大会、単独、弘前学院大学、2016年1月23日

(4)学外集中講義など

- 第7回こみせ観光ボランティアガイドの会研修会「方言に見ることばの変化」音蔵こみせん（黒石市）、2015年7月11日
- りんご王国こうぎょくカレッジ「これって方言なの？～気づきにくい方言に注目してことばの変化を考える～」FMアップルウェーブ2016年2月7日、14日放送
- 地域未来創生塾「これって方言なの？～気づきにくい方言に注目してことばの変化を考える～」弘前市立中央公民館、2016年2月10日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (C)「地方議会議事録の社会言語学的研究—バリエーション研究の事例として—」(研究分担者) 平成25~27年度

○国際社会講座

PHILIPS JOHN EDWARD

(4)学外集中講義など

- “British Colonialism, World War II, and the Romanization of Hausa” Université de Paris 7 Diderot, Hausa class, March 6, 2016
- “40 Years of Fieldwork in Nigeria” Université de Paris 7 Diderot, March 5, 2016
- “Mallam Haliru: A Traditional Islamic Historian from Nigeria” University of Cape Town, Department of Religious Studies Seminar, March 23, 2016

齋藤義彦

(1)現在の研究テーマ

- 現代ドイツ、ヨーロッパ文化

(2)著書、論文、その他

[その他] 翻訳

- 『ブリュッセル欧州理事会 (2015年3月19, 20日) に向けての連邦首相アンゲラ・メルケル博士のドイツ連邦議会での政府演説』「人文社会論叢」(社会科学篇) 第34号. 2015年8月
- 『ブリュッセル欧州理事会 (2015年10月15, 16日) に向けての連邦首相アンゲラ・メルケル博士のドイツ連邦議会での政府演説』「人文社会論叢」(社会科学篇) 第35号. 2016年2月

城本るみ

荷見守義

(1)現在の研究テーマ

- 中国明代史・東アジア近世史

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 荷見守義「実録と档案の間—明代万曆初年の事例から—」『(中央大学人文科学研究所) 人文研紀要』第82号、pp.31-60、単著、2015年10月

[その他]

- 荷見守義「性理大全」『弘前大学地域未来創生センター藩校資料調査プロジェクト 東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩古典籍調査集録』第二集、pp.53-56、単著、2016年3月
- 荷見守義「東奥義塾高等学校における特別授業を振り返って」『弘前大学地域未来創生センター藩校資料調査プロジェクト 東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩古典籍調査集録』第二集、p.116、単著、2016年3月

(3)研究発表、講演

[講演]

- 荷見守義「知られざる永楽帝—中国史学の最前線—」弘前大学人文学部 国際公開講座2015「日本を知り、世界を知る」、単独、弘前大学 2015年11月3日

[調査報告]

- 荷見守義「東奥義塾高校図書館蔵永楽三大全について」弘前大学地域未来創生センター藩校資料調査プロジェクト 東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩校「稽古館」資料調査報告会、単独、弘前大学 2015年12月23日

(4)学外集中講義など

- 「旧弘前藩校稽古館資料一般公開東奥義塾高等学校図書館所蔵古典籍展覧」特別授業「藩校資料が導く世界」東奥義塾高等学校、2015年11月12日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科学研究費補助金 基盤（C）「明代中国における審判・軍功評価事例の集積による辺疆統御様態の解明」（代表）2014～2017年度
- 科学研究費補助金 基盤（A）「近代移行期の港市と内陸後背地の関係に見る自然・世界・社会観の変容」（分担）2014～2017年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 弘前大学人文学部 国際公開講座2015「日本を知り、世界を知る」弘前大学 2015年11月3日
- 弘前大学地域未来創生センター藩校資料調査プロジェクト 東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩校「稽古館」資料調査報告会 弘前大学 2015年12月23日
- 弘前大学人文学部・藩校資料調査研究会 ワークショップ「市民と文化財―利用・活用・学習を考える―」弘前大学 2016年2月6日

林 明

澤田 真一

(1)現在の研究テーマ

- ニュージーランド文学、マオリ文学、ポストコロニアル文学

(2)著書、論文、その他

[その他]

- 澤田真一「ポストコロニアル文学の社会的機能：生き延びるための思想と文学」『南半球評論』vol.31、pp.10-11、単著、2015年12月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 澤田真一「ポストコロニアル文学の社会的機能：生き延びるための思想と文学」オーストラリア・ニュージーランド文学会 秋季大会、単独、弘前大学、2015年11月

[講演]

- 澤田真一「マオリ文化と文学：命と共生の思想」ニュージーランドが大好きになる講座、単独、早稲田大学、2015年5月

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- ニュージーランド、資料の収集及び研究、2015年3月2日～10日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究（C）「ニュージーランド文学における共生を鍵とした文化的対話の弁証法」（研究代表者）平成26～28年度

(7)共同研究、受託研究など

- 基盤研究（C）「ニュージーランドの反核芸術に用いられた広島イメージ群」（研究分担者）平成27～29年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- オーストラリア・ニュージーランド文学会秋季大会「ポストコロニアル文学の社会的機能」弘前大学、2015年11月

FUHRT VOLKER MICHAEL

(1)現在の研究テーマ

- 日本と東アジアにおける歴史認識、ナショナリズム、平和運動

中村 武司

(1)現在の研究テーマ

- 西洋史、イギリス史・イギリス帝国史、近代ヨーロッパ史

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 中村武司（中村翼・後藤敦史・向正樹との共著）「歴史学若手研究者の連携と協働に向けて」、大阪大学歴史教育研究会・史

- 学会編『教育が開く新しい歴史学（史学会125周年リレーシンポジウム2014）』pp.36-55、共著、2015年11月、山川出版社
- 中村武司「第3章第2節 イギリス帝国の拡大」、南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵（責任編集）『新しく学ぶ西洋の歴史——アジアから考える』、pp.66-69、共著、2016年2月、ミネルヴァ書房

[論文]

- 中村武司「急進的なウェストミンスターを見直す」『人文社会論叢——人文科学』第34号、pp.19-38、2015年8月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 中村武司「急進化以前のウェストミンスター選挙区と体制支持派の提督、1780-1806年」、イギリス革命史研究会、単独、2015年4月4日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究 (B)「19世紀イギリスの改革運動に関する政治文化史研究：大西洋革命との関連から」(研究代表者)、平成26～28年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 弘前大学人文学部・国際公開講座2015「海をこえて世界とつながる人文学」、弘前大学人文学部、2015年11月3日

亀谷 学

(1)現在の研究テーマ

- 初期イスラーム時代史、イスラーム世界における政治と宗教、イスラーム世界における驚異と古代

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 亀谷学「中世イスラーム世界の旅行記と驚異譚—驚異を目にした人々—」山中由里子編『〈驚異〉の文化史：中東とヨーロッパを中心に』pp.58-75、共著、2015年11月、名古屋大学出版会
- 亀谷学「ピラミッドという驚異—中世イスラーム世界における認識とアプローチ—」山中由里子編『〈驚異〉の文化史：中東とヨーロッパを中心に』pp.307-317、共著、2015年11月、名古屋大学出版会

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- Manabu KAMEYA“Titles for Early Abbasid Caliphs: Tracing their Evolution through Documentary Sources” in Tobunken Symposium and the First ASPS Gilas Seminar In Quest of a Proper Polity: Political Discourses in the Early Abbasid Period、単独、東京大学東洋文化研究所、2016年1月11日

[講演]

- 亀谷学「カリフ像：形成と展開」シンポジウム『イスラーム世界の政治指導者像を考え直す』単独、早稲田大学、2015年12月19日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 新学術領域研究（研究領域提案型）・公募研究「中世イスラーム世界における「古代」の継承と創造」（研究代表者）2015～2016年度

武井 紀子

(1)現在の研究テーマ

- 古代日本地方制度研究、出土文字資料研究、日唐律令制比較研究

(2)著書、論文、その他

[訳注]

- 武井紀子ほか 佐藤信監修・朝野群載研究会編『朝野群載 卷二十二 校訂と註釈』担当頁pp.20-21, pp.27-28, p.35, p.38, pp.52-53, pp.85-91, pp.129-135, pp.181-188, pp.214-219, pp.374-379、共著、2015年6月、吉川弘文館

[書評・史料紹介]

- 武井紀子〈書評と紹介〉鐘江宏之著『大伴家持』『弘前大学國史研究』第139号、pp.62-64、単著、2015年10月
- 武井紀子ほか 弘前大学人文学部・弘前大学地域未来創生センター・弘前藩藩校史料調査プロジェクトチーム編『東奥義塾高等学校所蔵 旧弘前藩古典籍調査集録』第2集、pp.34-52、共著、2016年3月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 武井紀子「鎮守府胆沢城の機能と性格」、第42回古代城柵官衙検討会、単独、奥州市文化センター、2016年2月14日

[講演]

- 武井紀子「発掘された文字資料から紐解く胆沢城鎮守府」一般財団法人奥州市文化振興財団奥州市埋蔵文化財調査センター主催「鎮守府探訪講座」、単独、奥州市埋蔵文化財調査センター、2015年7月11日
- 武井紀子「古代国家の財政システム—租税の生産から納入まで—」古代史講座【続・古典を読む—歴史と文学】一般社団法人長野教育文化振興会、長野高等学校金鷄会、単独、長野高等学校金鷄会会館、2015年9月5日
- 武井紀子「古代の法律を学ぶ—海と時をこえた学問の道—」弘前大学人文学部国際公開講座2015海をこえて世界とつながる人文学（弘前大学人文学部・弘前大学地域未来創生センター主催）、単独、弘前大学人文学部、2015年11月3日
- 武井紀子「東奥義塾高校図書館所蔵日本史関係資料について」東奥義塾高校所蔵旧弘前藩藩校「稽古館」資料調査報告会（弘前大学人文学部・弘前大学地域未来創生センター）、単独、弘前大学人文学部、2015年12月23日

(4)学外集中講義など

- 出前講義「史料から読み解く古代の社会」北海道旭川北高等学校、2015年8月25日
- 出前講義「文字文化から見る古代日本と東アジア世界」青森県立青森西高等学校、2015年10月30日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 中国/浙江省、資料史跡調査、2015年9月18日～9月25日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科学研究費補助金・若手研究B「古代倉庫と国家支配構造に関する基礎的研究」平成27年度～平成29年度、研究代表者
- 科学研究費補助金・基盤B日本史、「律令制的人民支配の総合的研究—日唐宋令の比較を中心に—」（研究代表者：大津透）、平成25年～平成28年、連携研究者

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 「東奥義塾高校所蔵旧弘前藩藩校「稽古館」資料調査報告会」弘前大学人文学部・弘前大学地域未来創生センター、2015年12月23日
- 「卒研を書くために—卒業研究発表会&卒研指導勉強会—」弘前大学人文学部卒業研究プロジェクトチーム、2016年2月10日

[それ以外のもの]

- 「平成27年度弘前大学国史研究会大会」弘前大学国史研究会、2015年9月27日

○情報行動講座

奥野 浩子

(1)現在の研究テーマ

- 動詞の意味構造
- 日本語と英語と韓国語の対照

(3)研究発表

[研究発表]

- 奥野浩子「日本語を意識した外国語（英語）発音指導」、第21回日英・英語教育学会、法政大学、2015年9月12日・

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 2015年8月28日～2015年9月4日、韓国（ソウル）、日韓コミュニケーション研究会参加・研究打ち合わせ・資料収集

佐藤 和之

(1)現在の研究テーマ

- 地域社会の言語変容研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- さくさく作成！「やさしい日本語」を使った緊急連絡のための案文集

～災害時における学校や自治体からのお知らせ編～

弘前大学人文学部社会言語学研究室

[論文]

- 災害下の外国人住民に適切な情報を「やさしい日本語」の可能性『Academic Journalism・SYNODOS』

[その他]

- Eラーニング教材『わかる！伝わる！はじめての「やさしい日本語」～分かち書き編・ポスター編～』

弘前大学人文学部社会言語学研究室

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 鶴岡市方言における共通語の格助詞「に」にあたる用法 —格助詞「サ」の用法を中心として（鶴岡の発展的調査から）
米田正人・佐藤亮一・水野義道・阿部貴人と共同発表
日本方言研究会第101回大会（パルトピア山口）

[講演]

- 「大規模災害下での外国人の言語権と「やさしい日本語」
—1.17, 10.23, 3.11—外国人住民は災害下でどう情報を得ていたか
全国市町村国際文化研修所（大津市）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- アジア諸国との関係において日本語が抱えるソフトパワーとしての言語政策的役割研究
挑戦的萌芽研究（研究代表者）

(7)共同研究、受託研究など

- 減災のための「やさしい日本語」研究

[それ以外のもの]

- 減災のための「やさしい日本語」研究会

曾 我 亨

(1)現在の研究テーマ

- 東アフリカ牧畜社会における気候変動と紛争
- 東アフリカにおける難民の生存を可能にした新たな経済活動
- 人類の進化史的基盤に関する研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 曾我亨, 2016, 「他者が立ち現れるとき」, 河合香吏編, 『他者』, 京都大学出版会, pp.65-86.

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- Toru SOGA, 2015, “War and Trade: Camel Trading and Interethnic Relations in Ethiopia,” Presented at the 5th African Forum: Addis Ababa titled “Local Knowledge as ‘African Potentials’” at Siyonat Hotel, Addis Ababa, Ethiopia, 30th October- 1st November 2015.

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 2015年9月3日-9月21日 エチオピア民主連邦共和国（現地調査）
- 2015年10月29日-11月3日 エチオピア民主連邦共和国（国際フォーラム）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科研（基盤研究A）「アフリカ在来知の生成と共有の場における実践的地域研究」（代表：重田真義、京都大学）研究分担者
- 科研（基盤研究C）「難民の生存を支える新たな経済活動に関する人類学的研究」（代表：曾我亨）
- 科研（基盤研究B）「援助と投資の経済人類学：エチオピアの食料資源の市場化／脱市場化に関する実証分析」（代表：松村圭一郎、立教大学）研究分担者

(7)共同研究、受託研究など

- 東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所共同研究員・

大橋 忠宏

(1)現在の研究テーマ

- 空港や路線の特性を考慮した国内及び国際航空市場特性の検討
- 弘前市を含む津軽地方における持続可能な公共交通サービスの設計

(2) 著書、論文、その他

[論文]

- 大橋忠宏, 国際航空旅客動態調査を利用した国際航空旅客市場特性の検討と課題, 『人文社会論叢 社会科学篇』, 第35号, pp.1-12, 弘前大学人文学部, 2016.2.

(4)学外集中講義など

- 平成26年度後期講義「地域と情報ネットワーク」青森公立大学, 2015年9月～12月

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 「空港・路線の特性を考慮した国内及び国際航空市場の政策評価に関する実証研究」, H24年度～H27年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C), 課題番号: 24530288)

内海 淳

(1)現在の研究テーマ

- XML規格を用いた文書処理

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 内海淳「プロファイリングによる共通テキストの効率的な生成」2015 PC Concerence 論文集, pp271-2、2015年8月、CIEC (コンピュータ利用教育学会)

(4)学外集中講義など

- 弘前大学出張講義「英単語のアクセントの秘密～英単語のアクセントの位置は予測可能か～」弘前中央高等学校、2015年12月4日

羽 淵 一 代

増 山 篤

(1)現在の研究テーマ

- 地理的な近接性 (アクセシビリティ) に関する理論的・実証的研究

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 増山 篤 (2015) 「青森県弘前市における介護サービスへのアクセシビリティ計測の試み」, 都市計画論文集, 50(2), 210-220
- 増山 篤 (2016) 「消費者余剰に相当する時空間アクセシビリティ指標の一種の提案とその応用可能性の検討」, 都市計画報告集, 14, 247-250

日比野 愛 子

(1)現在の研究テーマ

- 道具と組織との相互変容過程、ゲーミングを活用したコミュニケーションデザイン

(2)著書・論文、その他

[論文]

- Aiko Hibino, Arisa Ema, Akifumi Ueda and Reiko Hishiyama 「The Design of Lifestyle-Related Disease Game and its Practice for Regional Version」『Proceedings of the 46th ISAGA conference』, pp.53-64、共著、2015年7月

[その他、報告書の分担執筆]

- 日比野愛子「地元で働くことの意味—地元就職をめぐる意見のパターン分類」『弘前市・つがる地域の大学生・企業の就職に関する意識調査報告書』, pp.51-61、単著、2016年2月
- 日比野愛子「環境に対する大学生の意識—弘前大学生を対象とした質問紙調査より—」『大学とNPO、事業者等が協働した

環境教育・学習の仕組みづくりに向けた調査研究』、pp.2-11、単著、2016年3月

(3)研究発表・講演

[研究発表]

- Aiko Hibino, Arisa Ema, Akifumi Ueda and Reiko Hishiyama 「The Design of Lifestyle-Related Disease Game and its Practice for Regional Version」 The 46th ISAGA conference、共同、立命館大学、2015年7月18日
- Aiko Hibino and Toru Soga 「Agricultural innovation with locally anchored machine」 Asia-Pacific Science Technology and Society Biennial Conference、共同、台湾高雄市、2015年10月2日
- 日比野愛子 「社会シミュレーションはいかに社会を作るのか」 コンピューターシミュレーションの科学論研究会、単独、国立科学博物館、2016年3月4日

(4)学外集中講義など

- 弘前大学公開講座ひろだいなビゲート・キャラバン（八戸の高校生あつまれ）「私が」「みんな」に影響されるとき」、2015年9月12日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科学研究費補助金・基盤A、「「予測」をめぐる科学・政策・社会の関係」(研究分担者)、平成27～30年度
- 経営アカデミー生産性研究助成「ローカル機械がもたらす農業イノベーション：農機具共同体の事例分析」(研究代表者)、平成26～27年度

(7)共同研究、受託研究など

- 弘前市公民館、弘前大学との地域づくり連携事業「生活習慣病対策ゲームの実践」平成27年度

(8)弘前大学人文学部主催または共催の学会・研究会・講演会等

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

[国際フォーラム]

- 弘前大学地域未来創生フォーラム（共催、科学研究費補助金・基盤A、「「予測」をめぐる科学・政策・社会の関係」）「地方創生のゆりかごとしての知識インフラ」土手町コミュニティパーク、2016年2月10日

栗原由紀子

(1)現在の研究テーマ

- 統計的マッチングに関する研究、政府統計マイクロデータ分析と推定精度に関する研究

(2)著書、論文、その他

[論文]

- Yukiko Kurihara “Estimation of the durability of the profit on small and medium enterprises by statistical matching”, *Journal of Mathematics and System Science*, Vol.5, pp.173-182, David Publishing, May, 2015.
- 栗原由紀子「企業判断の情報特性と期待形成モデルの比較—『法人企業景気予測調査』および『法人企業統計調査』のリンケージデータから—」, 『統計研究資料』, No.116, pp.1-12, 法政大学日本統計研究所, 2015年8月.
- 栗原由紀子「階層ベイズモデルによる企業予想の異質性の検証—法人企業リンケージ・データを利用して—」, *IERC Discussion Paper*, No.257, pp.1-20, 2015年9月.
- 栗原由紀子「強い外生的ショック下における企業予想のマイクロ分析—法人企業景気予測調査・法人企業統計リンケージデータから—」, 中央大学経済研究所年報, No.47, pp.421-445, 2015年11月.

[その他]

- 栗原由紀子「参加者アンケートの集計結果」, 平成27年度『地域未来創生センタージャーナル』, pp.125-128, 2016年2月.
- 栗原由紀子「弘前市の労働需給に関するベイジアンネットワーク分析」, 『弘前市・つがる地域の大学生・企業の就職に関する意識調査報告書』弘前大学地域未来創生センター, 2016年2月.
- 栗原由紀子「平成26年度弘前大学男女共同参画推進に関する意識・実態調査報告書」, 第4-5章担当, 2016年3月.

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 栗原由紀子「企業予想の特性分析—外生的ショック下におけるバイアスと異質性—」日本行動計量学会第43回大会（首都大学東京）2015年9月3日.

(7)共同研究、受託研究など

- 弘前大学COIプロジェクト「青森ブランド価値創造研究」

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 弘前大学地域未来創生センター・地域未来創生塾第10回担当「弘南鉄道大鰐線の需要推定と利用促進への課題」(共同：大橋忠宏，2016年2月24日)
- オープンデータ利活用人材育成講座(青森県庁主催)・開催協力(コーディネーター：羽淵一代，増山篤，2016年3月1日～2016年3月3日)

○ビジネスマネジメント講座

保田宗良

(1)現在の研究テーマ

- 地域医療の質的向上と医療サービス

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 保田宗良「健康サービスの質的向上と医薬品流通の総合的な考察」『消費経済研究』第4号、pp.101-111、単著、2015年6月
- 保田宗良「医療マーケティング研究の新視点」『人文社会論叢—社会科学篇』第34号、pp.1-10、単著、2015年8月

[その他]

- 保田宗良「医療サービス研究の潮流について」『融合』No.27、pp.24-26、単著、2016年2月
- 保田宗良「解題:マーケティング研究と消費者教育」『青森県地域の消費者問題の考察 2015年度 弘前大学地域未来創生センタープロジェクト事業報告書』pp.7-11、単著、2016年3月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 保田宗良「地域医療の質的向上と医療マーケティング」日本消費経済学会全国大会、明治大学、2015年6月21日
- 保田宗良「医療サービス研究の新たな視座」日本産業経済学会全国大会、名古屋外国語大学、2015年9月12日
- 保田宗良「地域医療の質的向上と複合サービスについての考察」日本消費経済学会東日本大会、北星学園大学、2015年10月17日
- 保田宗良「医療サービスとヘルスケアシステムの展望」日本消費経済学会北海道・東北部会研究報告会、北星学園大学、2016年3月26日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究(C)「医療サービスの質的向上を意図した健康マーケティングシステムの構築」(研究代表者)平成26～28年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- フォーラム「消費者フォーラム」弘前大学、12月26日

森 樹 男

(1)現在の研究テーマ

- 日系多国籍企業の地域統括本社制
- 北欧の地域活性化モデルと青森県
- 同人マンガの電子書籍化と海外展開
- 地方企業における商品開発とデザイン
- 観光ビジネスと地域活性化

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 森樹男『新多国籍企業経営管理論』共著、2015年12月、文眞堂

[その他]

- 森樹男「大学間連携による津軽海峡交流圏での学びの魅力向上に向けて」『地域開発』vol.611、pp.6-10、単著、2016年1月
- 森樹男編「若者の感性を活かした産学官共同商品開発プログラム 平成27年度事業実施報告書」、共著、2016年2月、弘前大学人文学部

- 森樹男編『めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力を高める中核人材育成事業 平成27年度事業成果報告書』, 共著, 2016年2月, 弘前大学人文学部
- 森樹男編『弘前大学人文学部 教育改善・教育プログラム開発プロジェクト報告書』, 共著, 2016年3月, 弘前大学人文学部
- 森樹男編『弘前大学人文学部ビジネスシミュレーション実習Ⅱ・Ⅲ 課題解決型学習と学生の主体的な学び -大学生のチャレンジ2015- 報告書』 共著, 弘前大学人文学部, 2016年3月

(3)研究発表、講演

[講演]

- 森樹男「地域の魅力発見から魅力発信へ」, 三沢市公開講座, 単独, 三沢市公会堂, 2015年10月8日
- 森樹男「北海道新幹線開業で青函圏を若者が活躍する地域へ」 青函圏フォーラム, 単独, ロワジュールホテル函館, 2015年11月10日,

(4)学外集中講義など

- 青森高校スーパーグローバルハイスクール「プロジェクト学習Ⅱ 青森県民が幸せになるビジネスモデルの検討」青森高校, 2015年5月12日
- 青森高校スーパーグローバルハイスクール「グローバル時代の企業経営」青森高校, 2015年9月2日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- ベトナム, 青森県企業の海外進出と農産物輸出の現状視察のため, 2016年1月19日～24日
- 香港, 日系企業の地域統括本社に関する調査のため, 2016年3月21日～24日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究 (C)「日系多国籍企業のアジア地域統括本社の機能高度化とアセアン経済共同体の創設」(研究代表者), 2015年度～2017年度
- 経済産業省「産学連携サービス経営人材育成事業」(事業実施代表者)、2015年度～2016年度

(7)共同研究、受託研究など

- 青森県産業技術センター弘前地域研究所「若者の感性を活かした産学官共同商品開発プログラム構築事業 (平成26年度)」2015年7月～2016年2月
- JR東日本寄附講義「青森観光概論～津軽海峡交流圏の形成と青森県の観光振興～」2015年10月～2016年3月

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 弘前大学経済学会「弘前大学経済学会第40回大会」弘前大学, 2015年10月16日
- 産学連携サービス経営人材育成事業キックオフフォーラム「地域企業と連携した地方大学におけるサービス経営人材の育成」ホテルナクアシティ弘前, 2015年11月2日

加藤 恵吉

(1)現在の研究テーマ

- 国際課税、法人税法、実証会計

(2)著書、論文、その他

[論文] 研究ノート

- 加藤恵吉、白澤葉月「企業への監査意見表明の影響」『弘前大学経済研究』38号 122～130頁、2015年12月

(4)学外集中講義など

- 青森公立大学大学院「管理会計特論」、「租税法課題研究指導」

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- メルコ学術振興財団、弘前大学地域未来創成センター「特別経営セミナー りんご産業と管理会計」コメンテーター 於：弘前大学、2015年5月3日

熊田 憲

(1)現在の研究テーマ

- 地域イノベーション、イノベーション

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 熊田憲「意思あるモノづくりが導いたイノベーション」福嶋路、野呂拓生、加藤明、藤本雅彦、富澤辰治、宮曾根隆、川瀬郁郎、小笠原沙耶、熊田憲、近藤大『地域発イノベーションV 東北から世界への挑戦』pp.167-189、単著、2016年1月

[論文]

- 熊田憲「地域イノベーションを創出するネットワーク構築のあり方」『事業創造大学院大学紀要』第6巻第1号、pp.17-32、単著、2015年4月

[その他、誌上講義]

- 熊田憲「イノベーション・リーダー育成に求められること」『事業創造大学院大学広報委員会Jpress』、Vol42、p.2、単著、2016年1月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 細海幹人、熊田憲「麻栽培の現状と地域コミュニティを活かした新産地の可能性」産学連携学会第13回大会、共同、北海道・北見工業大学、2015年6月25日
- 若井和則、熊田憲「産学官連携プロジェクトによる六次産業化の推進」産学連携学会第13回大会、共同、北海道・北見工業大学、2015年6月25日

[講演]

- 熊田憲「今、求められる地域発イノベーション～その可能性を考える～」事業創造大学院大学体験授業、単独、新潟・事業創造大学院大学、2015年12月12日

高 島 克 史

(1)現在の研究テーマ

- 経営戦略論，ベンチャー企業論

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 高島克史「ベンチャー企業の経営課題と制度的環境」『弘前大学経済研究』第38号、pp.77-89、単著、2015年12月、弘前大学経済学会

[その他]

- 高島克史「企業行動を理解する3つのまなざし」『弘前』第431号、p.45、単著、2015年6月

(3)研究発表、講演

[講演]

- 高島克史「新幹線新時代の津軽海峡交流圏における経営者交流とビジネス・イノベーション」コメンテーター、青森市観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセ、2015年10月8日

(4)学外集中講義など

- 弘前高校出前講義「経営戦略論の世界」弘前高校、2015年9月4日
- 青森高校SGH「ビジネスモデルの設計」青森高校、2015年4月28日
- 青森高校SGH「ビジネス・マネジメント」青森高校、2015年10月21日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究(B)「起業家の認識・解釈プロセスをふまえたベンチャー企業事業化プロセスの体系的研究」研究代表者、2013年度～2015年度

(7)共同研究、受託研究など

- 青森ブランド価値創造研究「低・未利用水産資源であるムラサキガイ活用法の開発とブランド化」研究分担者、2015年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- FD講演会「コンセプトマップを用いたディープ・アクティブラーニングの試み」弘前大学、2015年11月18日
- 平成27年度産学連携サービス経営人材育成事業「めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力をもつ中核人材育成事業キックオフシンポジウム」、ホテルナクアシティ弘前、2015年11月2日
- 弘前大学人文学部ビジネスシミュレーション実習ⅡⅢ最終成果報告会「課題解決型学習と学生の主体的な学びⅣ」、弘前文

化センター、2015年12月18日

- 平成27年度産学連携サービス経営人材育成事業「めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力を高める中核人材育成事業 平成27年度成果報告会」、ホテルナクアシティ弘前、2015年2月8日

内藤 周子

(1)現在の研究テーマ

- 会計学、財務会計、IFRS、公会計、六次産業化

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 内藤周子「六次産業化における事業化に関する考察」日本会計研究学会第89回東北部会、単独、東北工業大学、2016年3月26日

[講演]

- 弘前大学 公開特別経営セミナー「りんご産業と管理会計」「りんご農家のコスト管理」(中田信雄氏)のコメント、2015年5月3日
- 内藤周子「大学での学びとは？」商業高校生の弘前大学訪問、2015年8月7日

(4)学外集中講義など

- フィールドスタディ「地域特性を活かしたビジネスモデルを学ぶ」2015年8月28日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 挑戦的萌芽研究「六次産業化における事業の評価指標の開発とその応用可能性」(研究代表者)

大倉 邦夫

(1)現在の研究テーマ

- 企業の社会的責任、社会的協働、ソーシャル・ビジネス、協働マネジャー

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 大倉邦夫「第5章 特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ」谷本寛治編著『ソーシャル・ビジネス・ケース—少子高齢化時代のソーシャル・イノベーション—』pp.203-252、単著、2015年7月、中央経済社

[その他]

- 森樹男・大倉邦夫・佐藤光輝『若者の感性を活かした産学官連共同商品開発プログラム 平成27年度事業実施報告書』弘前大学人文学部・教育学部、共著、2016年2月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- Kunio Okura「Social innovation in home care support services for senior citizens and disabled people: a case of Care Center Yawaragi」Deutsches Institut für Japanstudien Joint Workshop: Risks and Opportunities in Japan: Local Communities Confronting Demographic Change and Climate Change, 単独, Jochi Kioizaka Bld. 2F, 7-1 Kioicho Chiyoda-ku, Tokyo, November 12, 2015
- 大倉邦夫「社会的協働の協働マネジャーの役割に関する研究の展望」企業と社会フォーラム 第17回東日本部会、早稲田大学

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究 (B)「社会的協働のマネジメントにおける協働マネジャーの役割に関する研究」(研究代表者) 平成27年度～平成29年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 弘前大学人文学部ビジネスシミュレーション実習Ⅱ・Ⅲ最終成果報告会「課題解決型学習と学生の主体的な学びⅣ」弘前文化センター、2015年12月18日

小杉 雅俊

(1)現在の研究テーマ

- イギリスにおける品質原価計算

(2)著書、論文、その他

[その他・研究ノート]

- 小杉雅俊「品質コストの理論的フレームワークに関する一考察—品質コストの運用という観点からPAFアプローチとプロセスコストモデルについて考える—」『年報』金沢星稜大学総合研究所、第35号、p.54、単著、2015年5月30日。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 小杉雅俊「品質コストの実態に関する考察—諸外国における文献のサーベイを踏まえて—」日本会計研究学会第135回中部部会自由論題報告、単独、名古屋商科大学、2015年7月4日。
- 小杉雅俊「品質コストの理論的なフレームワークに関する一考察」北日本会計研究会、単独、北海道大学、2015年11月28日。

恩 田 睦

(1)現在の研究テーマ

- 経営史、日本経済史、鉄道史

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 恩田睦「くま川鉄道と沿線住民の協働による観光客誘致」『運輸と経済』第75巻12号、pp.79-88、単著、2015年12月。
- 恩田睦「戦前期弘南鉄道の経営展開と資金問題—昭和初期における鉄道経営」『弘前大学経済研究』第36号、pp.36-38、単著、2015年12月。
- 恩田睦「下北交通大畑線の開業と廃止にみる地域公共交通—高校生の通学輸送を中心に」『立教経済学研究』第69巻5号、pp.73-94、単著、2016年3月。

[その他、研究ノート]

- 小谷田文彦・カーペンタービクターリー・恩田睦「地方鉄道における地域との協働—くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道の検討」『人文社会論叢—社会科学篇』第34号、pp.111-118、共著、2015年8月。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 恩田睦「下北交通大畑線にみる地域公共交通の検討」公共交通研究会、単独、地方自治総合研究所、2015年9月14日。
- 恩田睦・小谷田文彦「くま川鉄道にみる地域住民との協働」鉄道史学会、共同、近畿大学、2015年10月3日。

(4)学外集中講義など

- 弘前大学ドリーム講座「『週刊少年ジャンプ』はなぜ“神話”となりえたのか」青森県立大間高校、2015年7月10日。

○経済システム講座

鈴木和雄

(1)現在の研究テーマ

- 大量生産体制成立期の「賃金経済」と「家庭経済」の変化
- 接客サービス労働過程

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 鈴木和雄「2つの経済とTSOLアプローチ（上）」、単著、『弘前大学経済研究』（弘前大学経済学会）第38号、pp.1-23、2015年12月25日。

[その他・学会報告要旨]

- 鈴木和雄「経済理論学会第62回大会（阪南大学、2014/10/25/26）・第17分科会・セット企画6「マルクスとエコロジー」報告」、単著、『季刊・経済理論』（経済理論学会）第52巻第1号、p.108、2015年4月20日。
- 鈴木和雄「接客サービス労働過程の基本構造」、単著、『弘前大学経済研究』（弘前大学経済学会）第38号、pp.154-156、2015年12月25日。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 鈴木和雄「接客サービス労働過程の基本構造」、単独、弘前大学経済学会第40回大会、弘前大学、2015年10月16日。

- 鈴木和雄「経済原論をめぐる状況について」、単独、SGCIME 春季研究会報告、八王子セミナーハウス、2016年3月28日。

北 島 誓 子

池 田 憲 隆

(1)現在の研究テーマ

- 1883年から実施された長期軍備拡張計画の政治経済的影響について

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 池田憲隆「神戸鉄工所の破綻と海軍小野浜造船所の成立－軍艦「大和」建造の行方－」『人文社会論叢』（人文科学篇）第34号、pp.39-56、単著、2015年8月

細 矢 浩 志

(1)現在の研究テーマ

- EU統合下の欧州自動車産業の変容に関する実証研究

(2)著書、論文、その他

[その他]

- 【資料紹介】細矢浩志「P.パヴリネク他『チェコ自動車産業のR&Dをつうじた産業高度化』」『弘前大学経済研究』第38号、pp.139-147、単著、2015年12月
- 【寄稿】細矢浩志「津軽で『水素』をつくろう！」『Tsugaru』79号（80号）、p.9、単著、2016年3月（4月）

(3)研究発表、講演

[講演]

- 【ラジオ番組出演】細矢浩志「EU～未確認政治物体の衝撃」りんご王国こうぎょくカレッジ（FMアップルウェーブ）、単独、2015年8月16日午後7時～8時

(4)学外集中講義など

- 2015年度前期講義、「生活と経済」、弘前医療福祉大学、2015年4月～9月
- 2015年度後期講義、「社会経済論」、弘前医療福祉大学、2015年10月～12月

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[それ以外のもの]

- 弘前大学経済学会第40回大会、弘前大学、2015年10月16日

黄 孝 春

(1)現在の研究テーマ

- りんご産業の経済分析、コメの自然栽培、鉄鉱石価格の決定方式

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 黄孝春・平本和博『りんごをアップルとは呼ばせない－津軽りんご人たちが語る青森りんごの底力－』共著、1-244頁、弘前大学出版会、2015年5月。

[論文]

- 田中彰・堀一郎・黄孝春・菅原歩「資源争奪戦時代におけるトランスナショナル企業の比較経営史：鉄鉱石の事例（中間報告）」『京都大学大学院経済学研究科ディスカッションペーパーシリーズ』No.J-15-002、共著、1-45頁、京都大学大学院経済学研究科、2015年10月。
- 黄孝春「日本産農産物の輸出産業化は可能か－TPP参加と農業をめぐる論争の研究サーベイ」、『人文社会論叢－社会科学篇』第34号、89-100頁。
- 黄孝春「青森県におけるりんご輸出の取り組みと課題」、日本園芸農業協同組合連合会『果実日本』No.70、2015年11月号、69-73頁。

[その他]

- 黄孝春・ビクター・カーペンター「自然栽培と地域農業の活性化」『弘前大学特定プロジェクト地域未来創生センタージャーナル』

ナル』2016年2月、49-52頁。

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 田中彰・康上賢淑・黄孝春「貿易摩擦下のレアアース産業と総合商社」産業学会、第53回全国研究会、共同、2015年6月13日(土)、中央大学多摩キャンパス
- 黄孝春「森嶋通夫の東アジア共同体構想」、第4回中・日・韓・朝言語文化比較研究国際シンポジウム、延辺大学 2015年8月18日

[講演]

- 黄孝春「TPPで青森県のりんご産業は大丈夫ですか」、まちづくりフォーラム、五所川原農林高校、2015年12月2日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 平成27年度延辺大学教員交流プログラム(派遣)、2015年7月10日-22日
- シンガポール、鉄鉱石の取引に関する現地調査、2015年9月1日-9月4日
- 中国北京、上海、鉄鉱石の取引に関する現地調査、2015年3月21日-30日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 平成25-27〔2013-15〕年度 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(研究分担者、課題番号25380437)「資源争奪戦時代におけるトランスナショナル企業の比較経営史研究：鉄鉱石の事例」。

[その他]

- 公益財団法人トラスト未来フォーラム助成金「アジアにおける鉄鉱石貿易の金融化に関する調査研究」、2014-2015年度
- メルコ学術振興財団公開セミナー助成金「りんご産業と管理会計」2015年度

(7)共同研究、受託研究など

- 地域未来創生センター 平成27年度教育研究プロジェクト「自然栽培と地域農業の活性化」

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- シンポジウム「コメの自然栽培」2016年1月27日
- 公開特別セミナー「りんご産業と管理会計」2015年5月3日 メルコ学術振興財団との共催

李 永 俊

(1)現在の研究テーマ

- 人口減少対策に関する調査・研究
- 人口移動、流出防止策、UJIターン者の支援策などに関する調査・研究
- 災害復興、災害に伴う人口移動に関する調査・研究
- ボランティア労働供給に関する研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 李永俊・渥美公秀・飯考行・関嘉寛『東日本大震災からの復興(3) たちあげる のだー北リアス・岩手県九戸郡野田村のQOLを重視した災害復興研究-』、共著、2016年3月、弘前大学出版会
- 李永俊ほか『中津軽地域住民の仕事と生活に関する調査報告書』、共著、2015年6月、1-144、弘前大学地域未来創生センター
- 李永俊ほか『東青地域住民の仕事と生活に関する調査報告書』、共著、2015年11月、1-150、弘前大学地域未来創生センター
- 李永俊ほか『弘前市・つがる地域の大学生・企業の就職に関する意識調査報告書』、共著、2016年2月、1-92、弘前大学地域未来創生センター

[論文]

- 李永俊、「地方ならではの「生き方モデル」を求めて」、NETT(North East Think Tank of Japan)、No.88、18-20頁、単著、2015年(査読無)

[その他]

- 李永俊、「人口減少を食い止める雇用の力」、Tsugaru、2015年5月号、単著
- 東奥日報、「あおり経済未知るべ」連載

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- Young-Jun Lee and Hiroaki Daimon, Altruistic Sentiment and Volunteering, IDRiM (Integrated Disaster Risk management), 共同, New Delhi, India, 2015年10月
- Hiroaki Daimon, Tomohide Atsumi and Young-Jun Lee, Will 'Pay-it-Forward' Network trigger inter-survivor support?, IDRiM (Integrated Disaster Risk management), 共同, New Delhi, India, 2015年10月
- 李永俊・李秀眞「Key Factors to Determine "UJI-turan Migration and Examine the Measure supporting "UJI-turn" Migration – in Case of Aomori」2015年韓国地域社会学会秋期学術大会、韓国デグカトリック大学、2015年11月6日。
- 李永俊「チーム・オール弘前の活動から見えた災害ボランティアの現状と課題」、日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会、奈良大学、2015.10.11～12日

[講演]

- 李永俊「ボランティアの心構え」、平川市ボランティア連絡協議会、2015年5月19日、平川市健康センター。
- 李永俊「人口減少問題の克服策を探る」、むつ市連続講演会「少子高齢化社会がもたらす地域課題」、2015年6月27日、下北文化会館、一般市民、80名
- 李永俊「災害とボランティア活動」、弘前市防災マイスター育成講座、弘前市消防本部、一般市民、50名
- 李永俊「UJIターン者の生活実態と移動理由について」、第2回あおもり移住・交流推進協議会基調講演、青森国際ホテル、2015年11月10日、行政担当者100名

(4)学外集中講義など

- 青森公立大学大学院非常勤講師・労働経済学特論

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 平成27年度弘前大学グローバル人材育成事業学生海外PBLプログラム「[地域を担う人材育成と地域活性化のモデルの構築]を題材とした学生海外PBLプログラム」2015年9月20～25日。
- The 6th Annual Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management, IDRIM-TIFAC 2015, New Delhi, India, October 28-30, 2015
- 2015年韓国地域社会学会秋期学術大会、韓国デグ市、11月5日～8日
- フィンランド、ヘルシンキ大学ルラリア研究所訪問、2016年3月20日～25日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 平成27年度「青森ブランド価値創造研究」「社会的行動が健康度に及ぼす影響について－岩木健康増進プロジェクトのデータを用いて－（代表、2,000千円）

(7)共同研究、受託研究など

- 李永俊「東青地域住民の仕事と生活に関する調査」青森市からの受託研究、2015年6月～2016年3月3,500千円。
- 李永俊「弘前市・つがる地域の大学生・企業の就職に関する意識調査」弘前市からの受託研究、2015年11月～2016年3月2,300千円。

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 地域未来創生センターフォーラム「地方回帰－UJIターン促進政策を模索する」土手町コミュニティパーク、2015年10月16日
- シンポジウム「東日本大震災からの地域復興を考える」野田村学習センター、2016年3月11日
- 地域未来創生塾、「地方回帰－UJIターンの原動力を探る－」、弘前市中央公民館、2015年12月23日
- 地域未来創生センターフォーラム「人口減少社会における持続可能な地域づくりを考える」、弘前市民文化交流館、2016年3月4日

福田進治

(1)現在の研究テーマ

- リカードの経済理論
- 青森県の経済問題

(2)著書、論文、その他

[研究ノート]

- 福田進治「中村廣治のリカード研究」『人文社会論叢－社会科学篇』第35号、pp.53-65、単著、2016年2月

[書評]

- 福田進治「Faccarello,G. & Izumo,M. (eds.), *The Reception of David Ricardo in Continental Europe and Japan*, Routledge, 2014」『経済学史研究』(経済学史学会) 第57巻第1号、pp.102-03、単著、2015年7月

[辞書]

- 福田進治「小林時三郎」、マルサス学会(編)『マルサス人口論事典』p.303、単著、2016年2月、昭和堂

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 福田進治「中村廣治のリカード研究」第53回経済思想研究会、単独、東北大学、2015年12月13日

[講演]

- 福田進治「[震災企画] 東日本大震災と弘前大学の取り組み－原発・核燃問題を交えて－」第36回経済学史学会東北部会例会、単独、山形大学、2015年4月18日
- 北村和也(司会)、アルノ＝ツェンゲレ・鈴木亨・平野了三・福田進治・富岡敏夫(パネル)「市民風車まぐるんちゃん10周年記念フォーラム」(特定非営利活動法人グリーンシティ)、共同、八戸プラザホテル、2016年3月19日

[討論]

- 福田進治「石井穰：マカロックと機械導入の影響の考察」第79回経済学史学会全国大会、単独、滋賀大学、2015年5月31日
- 福田進治「若松直幸：リカード『原理』第29章についての一研究－政府の財政管理手段をめぐって－」第54回経済思想研究会、単独、東北大学、2016年2月28日

(4)学外集中講義など

- 福田進治「青森県と原発・核燃問題－福島県の問題を交えて－」弘前若葉の会例会、単独、弘前市総合学習センター、2015年7月19日
- 福田進治「弘前大学での消費者問題講義について」青森県消費者問題研究会例会、単独、県民福祉プラザ、2016年2月27日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- イギリス・マンチェスター、学会参加、2015年8月31日～9月7日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究(B)「経済理論の大衆化から経済政策の形成へ：テキストマイニングを応用した実証研究」(研究分担者)、平成27～31年度
- 基盤研究(C)「日本のリカード研究の独自性と多様性に関する研究」(研究代表者)、平成27～31年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[それ以外のもの]

- 第25回マルサス学会大会、弘前大学、2015年6月28日～29日

飯島裕胤

(1)現在の研究テーマ

- 企業金融論(とくに、企業買収の経済分析、企業の利益配分について)

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 飯島裕胤、「付与効果と保有コストの下での中古住宅市場均衡：地方部における空き家の固定化と政策効果の理論分析」、『人文社会論叢－社会科学篇』第35号、pp.13-24、2016年2月

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[それ以外のもの(研究会)]

- 飯島裕胤、「エントレンチメント・モデルの配当政策」、法と経済学研究会、於：弘前大学人文学部、2016年2月28日

山本康裕

(1)現在の研究テーマ

- 金融政策全般
- 銀行貸出の変動が実体経済に与える影響

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 山本康裕「公的資金による資本注入政策のキャピタルランチ抑制効果と銀行業の寡占化の関係性」『人文社会論叢 - 社会科学篇』第34号、pp.11-34.

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 山本康裕「銀行の合併・退出による寡占化は、伝統的・非伝統的金融政策の効果にいかなる影響を及ぼすか？」日本経済学会、単独、新潟大学、2015年5月

小谷田 文彦

(1)現在の研究テーマ

- 企業行動の実証分析、地域活性化と産官学連携

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 小谷田文彦「くま川鉄道にみる地域住民との協働」鉄道史学会、第33回大会、恩田睦（弘前大学）と共同、近畿大学東大阪キャンパス、10月3日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- メキシコ合衆国、平成27年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業、2015年9月12日～22日
- フィンランド共和国、2016年3月20日～3月25日

金目 哲郎

(1)現在の研究テーマ

- 地方交付税、地方財源保障、財政民主主義

(2)著書、論文、その他

[その他]

- 金目哲郎「地方自治体の財政事情」『地域密着型情報誌 TSUGARU 9月号』、2015年9月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 金目哲郎「地方交付税制度とナショナルミニマム概念」ナショナルミニマム研究会、単独、日本大学、2015年12月20日

[講演]

- 金目哲郎「少子高齢化社会における自治体財政の課題」弘前大学生涯学習講演会、単独、むつ市下北文化会館、2015年6月13日

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[それ以外のもの]

- 学習成果発表会「人文学部教育プロジェクト:学生による地域課題の発見と政策提案の授業プログラムの構築」弘前市役所、2015年7月29日
- 全国政治経済学ゼミナール合同大会「全国7大学による観光業やコミュニティづくり等のフィールド調査および結果報告会」小田原市民会館、南足柄市、2015年9月2日～4日

桑波田 浩之

(1)現在の研究テーマ

- 東日本大震災後の輸出減少の要因
- ITの利用が企業組織に与える影響

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 桑波田浩之「東日本大震災の日本の輸出への影響-貿易の外延と内延の分解」『エコノミア』、第66巻、第1号、pp.57-71、単著、2015年5月

[その他]

- 桑波田浩之「企業統計データで見る海外アウトソーシング」『統計』、第66巻、第4号、pp.8-12、単著、2015年4月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 桑波田浩之「東日本大震災後における輸出の外延と内延への分解」日本国際経済学会第74回全国大会、単独、専修大学、2015年11月8日

(4)学外集中講義など

- 「国際経済学」横浜国立大学、2015年4月7日～7月22日

○公共政策講座

児山正史

(1)現在の研究テーマ

- 公共サービスの市場（準市場）としての福祉の選択制、地方自治体の行政評価

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 児山正史「長野県茅野市の行政評価：施策目標に対する事務事業の有効性」『人文社会論叢—社会科学篇』第34号、pp.35-43、単著、2015年8月
- 児山正史「準市場の優劣論と社会福祉基礎構造改革論」『人文社会論叢—社会科学篇』第35号、pp.25-41、単著、2016年2月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 児山正史「自治体行政におけるロジックモデルの作成・活用」第4回自治体政策経営研究会、単独、上尾市役所別館、2016年3月18日

(4)学外集中講義など

- 教員免許状更新講習「日本の財政と社会保障」弘前大学、2015年8月21日
- 出前講義「平成の大合併」弘前高校、2015年9月11日

平野 潔

(1)現在の研究テーマ

- 刑事過失論、裁判員制度、法教育

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 平野潔「過失不作為犯における『注意義務』」『人文社会論叢—社会科学篇』第34号 pp.45-69

[その他]

- 平野潔編『弘大生による裁判員裁判と司法関係機関に関する報告書』pp.1-175、2016年3月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 宮崎秀一＝平野潔「地域の専門家と連携した大学における法教育の可能性」法と教育学会第6回学術大会、共同、早稲田大学、2015年9月6日
- 平野潔＝前田歩「裁判員制度を機軸とした大学における法教育プログラム」法と教育学会第6回学術大会、共同、早稲田大学、2015年9月6日

[講演]

- 平野潔「『裁判員の素養』を考える意味」裁判員の素養—裁判員に期待されるもの—、単独、弘前大学人文学部校舎多目的ホール、2015年10月31日

(4)学外集中講義など

- 放送大学面接授業「現代社会と刑事司法」、青森学習センター、2015年6月27日～28日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 挑戦的萌芽研究「世代間対話を活用した『学社融合型』法教育プログラムの開発・試行・検証」（研究分担者）2015～2017年度

(8)学会・研究会・講演会などの開催

[弘前大学人文学部主催または共催のもの]

- 「裁判員の素養—裁判員に期待されるもの—」、弘前大学、2015年10月31日

長谷河 亜希子

(1)現在の研究テーマ

- 独占禁止法、フランチャイズ・システム

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 長谷河亜希子「フランチャイズ本部の濫用行為」日本経済法学会年報36号、pp.117～130、単著、2015年9月
- 長谷河亜希子「近時の優越的地位の濫用規制について」公正取引781号、pp.2～9、単著、2015年11月

[その他]

- 長谷河亜希子「セブン—イレブン25条訴訟（東京高等裁判所平成26年5月30日判決<LEX/DB25504714>）」速報判例解説編集委員会編『法学セミナー増刊 判例速報解説 vol.17』日本評論社、pp.275～278、単著、2015年10月

(4)学外集中講義など

- 弘前大学ドリーム講座「取締役はつらいよ（取締役の義務と責任）」野辺地高校、2015年8月26日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 2015年12月22～27日台湾（競争法執行に関するヒアリング調査）
- 2016年3月3～6日韓国（競争法執行に関するヒアリング調査）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究（C）「日米におけるフランチャイズ契約規制に関する法的規制」（研究代表者）平成25～27年度
- 基盤研究（C）「労働組合の現代的意義と労働団体法理の再構築に関する実証的理論研究」（研究分担者）平成25～27年度
- 基盤研究（A）「経済法、比較・国際経済法とフェアコンノミー：自由、公正、責任の競争法秩序」（研究分担者）平成26～28年度

近 藤 史

(1)現在の研究テーマ

- 農村部を中心とした地域の持続的発展。生態環境の利用と保全。

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 近藤史「半乾燥地域の林業を支える火との付き合い方—タンザニア南部、ベナの農村の事例から」重田眞義・伊谷樹一（編著）『争わないための生業実践—生態資源と人びとの関わり（アフリカ潜在力シリーズ 太田至 総編集 第4巻）』pp.181-241、単著、2016年3月、京都大学学術出版会
- F. Kondo「Endogenous Development Process of the Farming System Supported by the Mutual Labour Exchange System: A Case Study among the Bena in Tanzania」W. Shiino, S. Shiraishi and T. Ondicho (eds.)『Re-Finding African Local Assets and City Environments: Governance, Research and Reflexivity』pp.233-254、単著、2016年3月、JSPS and ILCAA.

[その他]

- 大山修一・桐越仁美・原将也・近藤史「『逆転の発想』による荒廃地の環境修復と紛争予防：西アフリカ・サヘルにおける都市ゴミと家畜を使った緑化活動」『熱帯農業研究』第9巻別号1、pp.22-23、共著、2016年3月
- 伊藤一幸・近藤史「アフリカで健康に生きる—伝染病を回避する総合防除策—」『自然農法』第74号、pp.10-17、共著、2016年3月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 近藤史「現金をめぐる共生のかたち—タンザニア南部・林業景気に沸く村を事例に—」日本アフリカ学会第52回学術大会、単独、犬山国際観光センターフロイデ、2015年5月24日

[講演]

- 近藤史「タンザニアにおける農林業の内発的発展」特別講演・写真展“自然とともに生きる—アフリカと日本における生業と生活—”、単独、九州大学伊都キャンパス・ゲストハウス、2015年6月27日

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- タンザニア連合共和国、現地調査および臨地研究指導、2015年12月17日～2016年1月15日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究 (B)「アフリカ農村における焼畑を基盤とした産業植林による内発的発展の可能性と課題の検討」(研究代表者) 2014年度～2016年度
- 基盤研究 (B)「西アフリカにおける都市の衛生改善と農村の荒廃地修復システムSLDACSの構築」(研究分担者) 2013年度～2016年度
- 基盤研究 (A)「アフリカ農村における技術の内部化プロセスの解明と循環型資源利用モデルの構築」(研究分担者) 2015年度～2019年度
- トヨタ財団共同研究助成「タンザニアにおける小型水力発電と住民交流を基盤とした環境保全に関する実践的研究」(副代表者) 2015年度～2016年度

吉村 顕真

(1)現在の研究テーマ

- 日米不法行為法の研究、日米救済法の研究、学校事故の研究、相続法の研究

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 吉村顕真「第7章『熟慮期間の起算点』の解釈による相続人救済—近年における裁判所の動向に着目して—」李永俊=渥美公秀 [監修]『東日本大震災からの復興 (3) たちあがるのだ—北リアス・岩手県九戸郡野田村のQOLを重視した災害復興研究—』174-207頁 (弘前大学出版会、2016年)

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 「遺産債務相続における相続人救済」青森市税理士会 (於: 青森市税理士会館) 2015年9月
- 「『熟慮期間の起算点』の解釈による相続人救済」第18回・青森法学会 (於: 弘前学院大学) 2015年11月

白石 壮一郎

(1)現在の研究テーマ

- 移住・移動者とホーム (家郷意識形成)、場所と共同性/公共性、地域社会の再想像、フィールドワーク (社会調査) 論など

(2)著書、論文、その他

[著書]

- Wakana SHIINO, Soichiro SHIRAIISHI & Tom ONDICHIO Eds. *Re-Finding African Local Assets and City Environments: Governance, Research and Reflexivity*. Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies; March 2016.

[論文]

- 白石壮一郎・羽渕一代「条件不利地域普通科高校の高卒後の移動と地元定着—青森県下北郡北通の同窓会調査から」、『人文社会論叢 人文科学篇』、第35号、pp.49-95、2016年2月
- 白石壮一郎・杉山祐子「地域農業プラットフォームとしての直売所—弘前市周辺の調査から」、『地域未来創生センタージャーナル』、第2号、pp.5-18、2016年2月

[その他]

- Soichiro SHIRAIISHI “Book Review *Embedded Mutualism for Co-Living in African Pastoralism: Ethnographic Studies of the Karimojong and Dodoth in Northeastern Uganda*. Itsuhiro Hazama, Kyoto: Kyoto University Press, 2015, p.312 (in Japanese) ”, *Nilo-Ethiopian Studies*, No.21, pp.45-47; March 2016.
- 白石壮一郎「書評: 波佐間逸博 著『牧畜世界の共生論理—カリモジョンとドドスの民族誌』、京都大学学術出版会 2015年」、JANES ニュースレターNo.23、2016年3月
- 杉山祐子・白石壮一郎「集落点検 (三沢市根井) 経過報告」、『地域社会研究』第9号、弘前大学大学院地域社会研究科、pp.30-36、2016年3月

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 白石壮一郎「地域間移動と家族・家郷意識、地元定着」、単独、F研（フィールド研究会）、弘前大学人文学部、2016年1月

(4)学外集中講義など

- 神戸大学大学院国際協力研究科、集中講義「開発社会文化論」、2015年12月

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 基盤研究（C）「東アフリカにおける高卒若年滞留層のライフコースと地方定着化／再流動化モデルの構築」（代表：白石壮一郎）、2015～2018年度

(7)共同研究、受託研究など

- 青森県受託事業（地域社会研究科受託研究）「集落地域の実態把握と住民主体の計画・目標づくりに関する研究」（調査協力）

成 田 史 子

(1)現在の研究テーマ

- 労働法

(2)著書、論文、その他

[論文]

- 成田史子「会社分割時の労働契約関係の承継と労働条件の変更」日本労働法学会誌（2016年）127号 pp.23-39（査読無し）（単著）
- 成田史子「会社分割における労働者の保護」野川忍／土田道夫／水島郁子編著『企業変動における労働法の課題』（有斐閣、2016年）pp.35-58（査読無し）（単著）
- 成田史子「会社分割時の労働契約関係の承継と個別労働条件の変更」弘前大学人文学部『人文社会論叢・社会科学篇』34号（2015年）pp.71-88（単著）
- 成田史子「労働者の多様化と従業員代表制のあり方 国際比較も含めて」野川忍／山川隆一／荒木尚志／渡邊絹子編著『変貌する雇用・就労モデルと労働法の課題』（商事法務、2015年4月）pp.241-261、単著

[判例評釈]

- 成田史子「障害に対する配慮の合意と会社分割による承継の有無－阪神バス事件」Jurist 1479号（2015年）pp.237-238、単著（査読無し）

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 「会社分割時の労働契約関係の承継と労働条件の変更」日本労働法学会2015年度秋大会大シンポジウム（口頭発表）（査読無し）（2015年10月）於東北大学

(4)学外集中講義など

- 2015年 オープンキャンパス 模擬講義
- 2015年度 地域未来創生塾@中央公民館 講師
- 2016年 アップルウェーブ紅玉カレッジ 講師

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動など

- 大韓民国、出張（2015年4月25日～4月29日）
- ドイツ、出張（2015年12月12日～12月21日）
- ドイツ、出張（2016年2月28日～3月7日）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究B「企業組織再編時の労働者保護を目的とした法規範の構築方法」（研究代表者）（研究期間2013年4月1日～2016年3月31日）。
- 若手研究B「企業組織再編手続における労働者保護規範の解釈論・立法論的提案」（研究代表者）（研究期間2016年4月1日～2019年3月31日（予定））。
- 基盤研究（B）「ハイブリッド型労働法における実体規制・手続規制と労使関与メカニズム」（研究分担者）（研究期間2014年4月1日～2017年3月31日（予定））

河合正雄

(1)現在の研究テーマ

- 受刑者の権利

(2)著書、論文、その他

[著書]

- 河合正雄「受刑者の選挙権から見たヨーロッパ人権裁判所とイギリス」倉持孝司・松井幸夫・元山健編著『憲法の「現代化」—ウェストミンスター型憲法の変動—』pp.377-391、2016年2月、敬文堂

[論文]

- 河合正雄「受刑者の外部交通権の憲法的意義—面会規定を中心に」『NEWS LETTER（雇用構築学研究所）』第47号、pp.15-24、単著、2015年8月
- 河合正雄「受刑者と生殖の自由—ヨーロッパ人権裁判所判例を題材として—」『青森法政論叢』第16号、pp.18-28、単著、2015年8月

[その他、教科書]

- 河合正雄「思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由」倉持孝司・小松浩編著『憲法のいま—日本・イギリス—』pp.106-116、共著、2015年9月、敬文堂
- 河合正雄「身体的自由権」倉持孝司・小松浩編著『憲法のいま—日本・イギリス—』pp.148-153、共著、2015年9月、敬文堂
- 河合正雄「もし警察に捕まってしまったら—刑事事件で保障される権利」西原博史・斎藤一久編著『教職課程のための憲法入門』pp.119-133、共著、2016年2月、弘文堂

(3)研究発表、講演

[研究発表]

- 河合正雄「18歳選挙権と政治教育—イギリスのシティズンシップ教育の参照から」青森法学会第18回総会・研究大会、単独、弘前学院大学、2015年11月14日

(4)学外集中講義など

- 2015年度夏季集中講義「教育と憲法（日本国憲法）」電気通信大学、2015年8月17～19日、27日
- 1・2年大学模擬授業「1票の較差—岩手県から参議院議員が出せなくなる？」、岩手県立一関第二高等学校、2015年9月26日

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 若手研究（B）「国際人権法の視点を採り入れた受刑者の実効的な権利保障に向けて」（研究代表者）平成26～27年度